

北の杜学園の取組

令和5年7月
太田市教育委員会
学校教育課
第2号

前回の第1号（令和5年3月発行）では、施設一体型の義務教育学校である北の杜学園の特色ある教育活動の中から、「4つのステージによる指導」についてご紹介しました。

今回の第2号では、「異年齢交流の充実」についてご紹介します。

特色ある教育活動

4つのステージによる指導

5年生からの教科担任制

異年齢交流の充実

地域に開かれた学校



たてわり班による異年齢集団活動

1～9年生までの各学年の児童生徒が所属する、全体で36の「たてわり班」を編制し、異年齢集団活動を行っています。

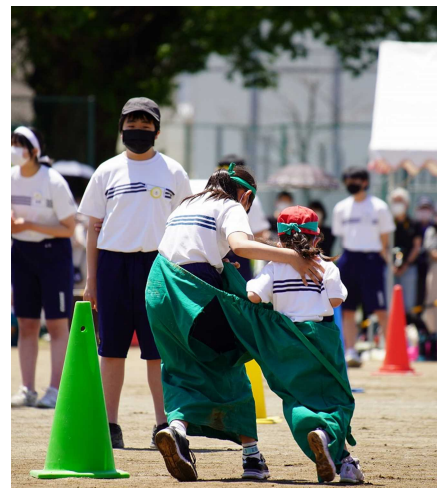
「たてわり班」を生かしたグループ遊びや全校遠足、運動会等を通して、下級生への思いやりの心や上級生への憧れの気持ちを育むとともに、「リーダーシップ」や「フォロワーシップ」を育成しています。

異年齢集団活動の一例紹介

毎年春に開催される、1年生から9年生まで6つの団に分かれて競い合う「春のたてわり運動会」をご紹介します。今年も5月に開催され、大賑わいとなりました。

大きなパンツを上級生と下級生が一緒に履いて走る「でかパンリレー」では、上級生が下級生を気遣い、下級生の背中にそっと手を添えて走る姿は、とてもほほえましく映ります。また、「玉入れ」や「ボール運び」では、上級生が下級生を優しいまなざしで見守りながらフォローし、下級生は小さな体で一生懸命ボールを運び、和やかな雰囲気にも包まれていました。

1年生から9年生まで全校児童生徒が合同で創り上げる、義務教育学校の良さを生かした運動会を実施しています。



かつては家庭や地域で自然に経験することができた異年齢交流は、核家族化、少子化によって、きょうだいの数や地域の子どもの数が減少していく中で、経験する機会が減ってきました。しかし、施設一体型の義務教育学校である北の杜学園では、異年齢交流ができるよう積極的に取り組んでいます。上級生に優しく接してもらい、大事にしてもらえたという経験、下級生に思いやりを持って接し、役に立てたという経験は、人と関わっていく上で、社会性の基礎となる大切なものです。

今後も北の杜学園では、異年齢交流の中で、多様な児童生徒でふれあったり、協働したりする活動を工夫することにより、互いの個性を認め、他者を尊重する心を育成していきます。